

The 15th Annual Meeting of the Japanese Wrist Surgery Workshop

第15回日本手関節外科ワークショップ

もえよ！

プログラム・抄録集

● 会期 2023年 9月30日(土)

● 会場 朱鷺メッセ

新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6番1号

● 会長 森谷 浩治

一般財団法人新潟手の外科研究所 所長

The 15th Annual Meeting of
the Japanese Wrist Surgery Workshop

第15回
日本手関節外科
ワークショップ

もえよ！

プログラム・抄録集

会期 2023年 9月30日(土)

会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6番1号

会長 森谷 浩治
一般財団法人 新潟手の外科研究所 所長

第15回 日本手関節外科ワークショップ

第15回日本手関節外科ワークショップ

会長 森谷 浩治

(一般財団法人 新潟手の外科研究所 所長)



日本手関節外科ワークショップはその名のとおり、手関節疾患に限った特徴的(オタク?)な研究会として、燃えるような議論が、「もう、ええよ」と言われるくらい繰り返し行われてきました。近年は変性疾患に関する演題が増加し、対象部位として「母指CM関節も、ええよ」といわんばかりに加わり、少しずつ会の規模も大きくなってきております。COVID-19が5類に引き下げられたこともあり、本年はたくさんの演題をいただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げるとともに、会場が4つになりましたことを深くお詫びいたします。

今回は橈骨遠位端骨折と手関節周囲の靭帯損傷、舟状骨を主題として取り上げ、これに関連するシンポジウムやパネルディスカッション、各種セミナーを企画いたしました。中でも坪川直人先生のランチョンセミナーと三浪明男先生の教育研修講演は必聴です。坪川先生とは長くお付き合いさせていただいておりますが、先生から舟状骨の治療全般についてのお話を聞いたことがないため非常に楽しみです。また、三浪先生は既に7月の新潟手の外科セミナーで新潟へ来ていただいておりますが、この度も御無理をきいてくださり手根靭帯損傷に関連する手術治療を熱く語っていただきます。このような難しいテーマを系統立てて治療・研究・講演できます手外科医は三浪先生しかおられませんので、御講演が待ち遠しいです。一般演題も大変興味深いものが多く、どの会場へ行けばよいか迷われるかもしれません。そんな時は休憩場所を設けてありますので、そこへ気になる「推し」(演題? 演者?)を探しに行くのはいかがでしょうか!

私は「学会や研究会にテーマって本当に必要なの?」と常々思っておりました。6年前に第15回日本手関節外科ワークショップの大任をいただき、2年前頃にとりあえずテーマを決めてみました。それが今回の「もえよ!」です。このテーマは(仮)でしたが、実にこれを中心にならぬアイデアが出てきたのには正直驚き、計画していた非常に楽しい思いをさせていただきました。少しでも私が感じた楽しさを御参加いただきました皆様と共有したく、事務局一同準備してまいりました。至らぬ点、可笑しな点、不思議な点も多々あると思いますが、少しでも記憶に残る研究会になれば幸甚です。それにしても、やっぱりテーマって必要ですね!

最後になりますが、このようなワークショップを開催できますのも、御協賛いただきました企業・団体・個人の方々ならびに御協力、御参加いただけます皆様のおかげです。ここに厚く御礼申し上げます。

日本手関節外科ワークショップ 世話人

代表世話人	中村 俊康	国際医療福祉大学 整形外科
世話人	安部 幸雄	山口県済生会下関総合病院 整形外科
	池口 良輔	京都大学 整形外科
	石河 利之	いしこ整形外科
	泉山 公	南多摩病院 整形外科
	今谷 潤也	岡山済生会総合病院 整形外科
	恵木 丈	北浜えぎ整形外科
	大井 宏之	聖隷浜松病院 手外科・マイクロサージャリーセンター
	岡 久仁洋	大阪大学 整形外科
	小田 良	京都府立医科大学 整形外科
	面川 庄平	奈良県立医科大学 手の外科講座
	加地 良雄	香川大学 整形外科
	金城 養典	清恵会病院 整形外科
	川崎 恵吉	昭和大学横浜市北部病院 整形外科
	小島 康宣	南奈良総合医療センター 整形外科
	重松 浩司	しげまつ整形外科・手の外科クリニック
	善家 雄吉	産業医科大学 整形外科
	建部 将広	名古屋大学 手の外科
	玉井 誠	西18丁目・手のクリニック
	辻井 雅也	三重大学 整形外科
	長尾 聡哉	板橋区医師会病院 整形外科
	西脇 正夫	川崎市立川崎病院 整形外科
	藤尾 圭司	大阪グローバル整形外科病院
	松井 雄一郎	北海道大学 整形外科
	光安 廣倫	光安整形外科
	村田 景一	市立奈良病院四肢外傷センター
	森友 寿夫	大阪行岡医療大学／行岡病院手外科センター
	森谷 浩治	一般財団法人 新潟手の外科研究所
	山本 美知郎	名古屋大学 手の外科
	吉井 雄一	東京医科大学茨城医療センター
会計監事	長田 伝重	獨協医科大学 日光医療センター
顧問	平田 仁	名古屋大学 手の外科

(2022/9/12 現在、50音順)

歴代会長

第1回	玉井 誠	熊本整形外科病院	平成20年8月9日	名古屋
第2回	中村 俊康	慶應大学	平成21年8月8日	東京
第3回	安部 幸雄	済生会下関総合病院	平成22年3月6日	下関
第4回	面川 庄平	奈良県立医大	平成23年3月5日	奈良
第5回	長田 伝重	濁協医科大学	平成24年3月10日	宇都宮
第6回	光安 廣倫	光安整形外科	平成25年8月10日	福岡
第7回	森友 寿夫	大阪行岡医療大学	平成26年9月23日	大阪
第8回	建部 将広	安城更生病院	平成27年9月26日	愛知
第9回	今谷 潤也	岡山済生会総合病院	平成28年9月3日	岡山
第10回	川崎 恵吉	昭和大学	平成29年9月2日	東京
第11回	中村 俊康	国際医療福祉大学	平成30年11月10日-11日	成田
第12回	村田 景一	市立奈良病院	令和元年9月14日	奈良
第13回	田中 利和	キッコーマン総合病院	令和3年9月25日	つくば
第14回	藤尾 圭司	大阪グローバル整形外科病院 院長	令和4年8月27日	大阪
第15回	森谷 浩治	新潟手の外科研究所 所長	令和5年9月30日	新潟

日本手関節外科ワークショップ 会則

第1条：(名称)

本会は「日本手関節外科ワークショップ」英文表記 Japanese Wrist Surgery Workshop (略称 JWSW) と称する。

第2条：(目的)

本会は手関節領域の最新情報、手関節疾患の診断、治療の意義、重要性を共有、所属施設において手関節外科に携わる後進の医師あるいは医師以外の者の教育を通して、手関節外科の進歩、発展に努めることを目的とする。

第3条：(事業)

本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 日本手関節外科ワークショップを年1回開催する。
- (2) 本ワークショップの参加・聴講に関しては、手関節外科に関わる医師、コメディカルとする。
- (3) その他、本会の目的達成に必要な事業。

第4条：(構成)

本会は、手関節の研究、診療に従事する医師、及び医療従事者、またはこの分野に関心を有する医師、及び医療従事者をもって構成する。

第5条：(役員)

(1) 本会に次の役員をおく。

- | | |
|----------|------|
| 1. 代表世話人 | 1名 |
| 2. 世話人 | 約30名 |
| 3. 会計監事 | 1名 |
| 4. 顧問 | 1名 |

(2) 代表世話人および会計監事は世話人の中から互選で選ぶ。

(3) 会計監査は1年に1度、会計年度の最終月に決算を確認、承認する。

(4) 新たに世話人になるものは、従前の世話人2名の推薦の上、世話人会の議決による賛成多数を必要とする。

第6条：(運営)

(1) 世話人は世話人会を組織し、会務を処理する。

(2) 世話人会において世話人の互選により次回当番世話人を選出し、次回のワークショップの開催時期、テーマを決定する。

(3) 当番世話人は、該当するワークショップのテーマに沿った企画および運営を行う。

(4) 代表世話人はこの会を代表して会議を統括し、必要な会議を招集する。

(5) 世話人会は最高の意志決定機関とする。

(6) 世話人会は年1回、ワークショップ開催にあわせて開催するが、必要性が認められた場合には臨時に開催する。

(7) 顧問は世話人会にできるだけ参加する。世話人会での議決権はないが、世話人会での発言権を持ち、運営に関して、適切な助言を行う。

(8) オブザーバーとして OT 若干名を置き、世話人会への参加を許可する。

(9) 世話人は、世話人会及び臨時世話人会を3回理由なく連続して欠席の場合は、世話人の資格を失う。

第7条：(会計・会費)

- (1) 本会の経費は年会費(医師会員5000円、ハンドセラピスト2000円)、寄付金、ワークショップ参加費からの残余金及びその他の収入をもって当てる。予算及び決算は世話人会にて承認を得る。年会費の徴収はワークショップ参加時および振り込みによって行う。
- (2) 参加費はワークショップ開催時に徴収する。参加費の金額についてはワークショップ会長である当番世話人が決定する。
- (3) 年会費およびワークショップの残余金は事務局で管理し、ワークショップ自体の会計は当番世話人であるワークショップ会長が行う。

第8条：(会計監事)

本会の収支決算は毎会計年度終了後に作成し、会計監事の監査を経て世話人に報告しなければならない。

第9条：(事務局)

- (1) 事務局は代表世話人のもとに、会員名簿の整理、会費の管理等学術集会の運営に必要な諸事務を行う。
- (2) 本会の事務局は下記に置く。

事務局 名古屋大学医学部手の外科
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

第10条：(会則の改定)

会則の改定の必要性が生じた際には、世話人会にて承認を受け、世話人会に報告しなければならない。

付則：(施行細則)

- (1) 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- (2) 本会則は平成26年4月1日から施行する。
- (3) 本会の継続は1年後に見直すこととする。

平成26年11月23日 改訂
令和元年9月13日 改訂
令和3年9月25日 改訂
令和4年9月12日 改訂

参加者へのお知らせ

1. 参加登録

本会は、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターでの現地開催ならびに会期後に各プログラムのオンデマンド配信を行います。LIVE 配信は予定しておりません。

会期後のオンデマンド配信でも教育研修単位の取得が可能です。

参加登録いただきますと現地開催、会期後のオンデマンド配信の両方にご参加いただけます。

公式サイト (<https://shinsen-mc.co.jp/jsw15/>) より、参加登録手続きをお願いいたします。

① 事前参加登録期間：7月6日(木)～8月31日(木)まで

② 通常参加登録期間：9月1日(金)～11月22日(水)正午まで

2. 参加費

下記金額を参加登録手続き時にお支払いください。

	① 事前参加登録 8月31日(木)まで	② 通常参加登録 9月1日(金)～ 11月22日(水)正午まで
医 師	10,000 円	12,000 円
医師以外	5,000 円	5,000 円

※参加費はご入金後、理由の如何に関わらず返金いたしかねます。

3. ご参加の流れ

(1) 現地参加(事前参加登録をされた方)

〈参加証(兼領収書)について〉

- ①の事前参加登録の期間に登録された現地参加者へは会期前に郵送いたします。
- ②の通常参加登録の期間に登録された現地参加者の方は、当日会場にてお渡しいたしますので、4F「総合案内」までお越しくださいようお願い申し上げます。

〈プログラム・抄録集について〉

- ①および②のいずれの期間に登録された場合も、当日会場でお渡しいたします。
- ホームページにPDFデータを公開いたします。閲覧用パスワードは【tenogekajsw15】です。

(2) 現地参加(当日参加登録の方)

〈当日参加受付時間・場所〉

日 時：9月30日(土) 7:15～16:00

場 所：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 4F ホワイエ

記帳台にご用意している当日参加登録用紙に必要事項をご記入の上、参加費をお支払いいただき、参加証ならびにプログラム・抄録集をお受け取りください(現金決済のみ)。

参加証には所属・氏名をご記入いただき、会期中は必ずご着用ください。

参加証のない方のご入場は固くお断りいたします。

(3) オンデマンド配信

【オンデマンド配信期間】

2023年10月18日(水)～11月22日(水) 23:59

オンデマンド配信期間は、公式サイト(<https://shinsen-mc.co.jp/jsw15/>)より、視聴ページにお進みください。

※教育研修単位の取得を希望される方は、必ず該当のセッションをご視聴頂き、設問にご解答ください。詳細は10ページ「教育研修講演のお知らせ」をご確認ください。

4. 昼食

ランチョンセミナー会場でお弁当を配布いたします。但し、数量に限りがございますので、ご了承ください。(整理券の配布はございません。)

5. 会場内での録音・撮影

事務局の許可のない録音や、スクリーンショット等の撮影は禁止いたします。

6. 全員懇親会のご案内

今回は全員懇親会を実施いたしません。

7. MOEYO ディベートでの現地聴講者参加型ジャッジメントについて

MOEYO ディベートセッションにおいて、ご聴講いただく参加者の皆様に各ラウンドにおいてジャッジをいただきます。

会場入り口にて判定アイテムを配布いたしますので、お受け取りいただき、座長の進行に沿って勝者と思われる方の色を掲げてください。

セッション時間：2023年9月30日(土) 15:50～17:30

会 場：第2会場(3F 中会議室301)

8. 世話人会のご案内

日 時：2023年9月29日(金) 17:15～18:30

場 所：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 4F マリンホール

発表者・座長へのお知らせ

発表者へのご案内

1. 口演時間

1) 各セッションの発表時間、討論時間は以下の通りです。

セッション名	発表時間	質疑応答	総合討論
MOEYO シンポジウム 1	8分	2分	50分
MOEYO シンポジウム 2	8分	2分	50分
MOEYO パネルディスカッション	8分	2分	35分
MOEYO スポンサーシンポジウム	8分	2分	40分
MOEYO デイバート	1 タイトル 4 ラウンド制 1 人総発表時間 16 分 [立論 4 分 + 反対尋問 4 分 + 反駁 4 分 + 最終弁論 4 分] + ジャッジ・講評 5 分		
主題	5分	2分	-
一般演題・症例報告	4分	2分	-

2) 演者は担当のセッション開始時刻の10分前までに会場前方左手の次演者席にお着きください。

3) 口演発表者はPCプレゼンテーションのみとさせていただきます。PCをご持参いただくか、データをUSBメモリー等にてお持ちください。

2. PC 受付について

日 時：2023年9月30日(土) 7:15～17:00

場 所：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 4F ホワイエ

※演者は、口演開始30分前までにPC受付にお越しください。(但し朝一番のセッションは20分前までにPC受付にお越しください。)

3. プレゼンテーションの方法について

1) 主催者側で用意するPCのOSはWindows11、アプリケーションはWindows版PowerPoint 2021(365)、スクリーンは16:9のワイドサイズです。

2) Macintoshをご利用の場合には、必ずご自身のPCをご持参ください。

3) 動画を含む場合には、PC受付にて必ずオペレーターにお申し出ください。念のため、ご自身のPCをご持参いただくようお願いいたします。

【メディアをご持参いただく方へ(Windowsのみ)】

- USBフラッシュメモリまたはCD-Rに保存してご持参ください。
- ご発表データはPowerPoint 2010・2013・2019で作成してください。
- フォントはOS標準フォントのみ使用可能です。
- ご用意いただくUSBフラッシュメモリまたはCD-Rのウイルスチェックを事前に行ってください。
- バックアップとして予備のデータをご持参いただくようお願いいたします。
- 「発表者ツール」のご使用はできませんのでご注意ください。

【PC 本体をご持参いただく方へ】

- 試写確認後、発表会場内の PC オペレーター席まで各自で PC をご持参ください。
- 発表後は速やかに PC オペレーター席までお越しください。お預かりした PC を返却いたします。
- 電源ケーブルを必ずご持参ください。
- 対応可能な接続ケーブルは HDMI と D-Sub15 ピンです。それぞれ変換が必要な機種では変換コネクタをご持参ください。
- 動画をご使用になる場合は、PC 受付にて必ずオペレーターにお申し出ください。
- スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除しておいてください。

4. 座長へのお願い

ご担当セッション開始予定の 10 分前までに、会場右手前方の次座長席までお越しください。進行は時間厳守にてお願いいたします。

※ MOEYO デイバートでのジャッジメントは、聴講者参加型となります。

教育研修講演のお知らせ

1. 日本整形外科学会教育研修単位をご希望の方へのお知らせ

本ワークショップは、日本整形外科学会教育研修単位が認定されています。
対象となる講演は以下の通りです。

【対象となる講演】

時間	会場	セッション名	演題名	演者	単位種別
8:00～ 9:00	第1会場	MOEYO セミナー1 (モーニングセミナー)	難治性橈骨遠位端骨折に対する 治療戦略 —単軸型掌側ロッキングプレートの 適応と限界—	今谷 潤也	N, 2, 10 1単位
			橈骨遠位端骨折 —多軸型 VLP 時代における単軸型 VLP の治療成績—	辻 英樹	
ランチョンセミナー		舟状骨骨折・偽関節の診断と 治療の多様性 —悩ましきかな舟状骨—	坪川 直人		
MOEYO セミナー2 (教育研修講演)		手根靭帯損傷とそれに続発する 手根不安定症に対する手術治療	三浪 明男		
14:45～ 15:45		スイーツセミナー	母指 CM 関節症に対する 関節形成術	辻井 雅也	
	母指 CM 関節症に対する 関節固定術 —固定手技の変遷と癒合率—		幸田 久男		

【現地会場で受講される場合】

1) お申し込み方法

記帳台に用意されている「教育研修講演受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、日本整形外科学会 IC カードと受講料(1単位：1,000円)を添えて、講演開始の20分前までに教育研修講演単位受付にてお申込みください。

※お申込みの際は必ず日本整形外科学会 IC カードをご持参ください。

※講演中止などの理由以外での受講料の払い戻しはいたしませんのでご注意ください。

2) 講演会場での手続き

講演開始10分前から、講演開始10分後までに IC カードを講演会場入口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。講演開始後10分を過ぎた場合、受講申込みが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

※退場時は IC カードリーダーに IC カードをかざす必要はありません。

※ IC カードをお忘れになった場合は、スタッフにお申し出ください。

3) 未専門医の方へ

申込方法は、専門医の方と同様です。研修手帳をお持ちの方も単位取得には日本整形外科学会 IC カードが必要となりますので、必ずご持参ください。IC カードで単位を取得された際は、「研修手帳」の押印欄にご自身で「ホームページ参照」と記載してください。

4) 研修単位受講履歴の確認について

本ワークショップ終了の約2週間後から、日本整形外科学会ホームページ・会員専用ページ内「専門医制度取得単位照会」にて、ご自身の単位取得状況を確認することができます。

受講された教育研修講演の単位は、自動的に整形外科専門医必須分野の小さな番号の単位として付与されています。受講必須分野の振替は、会員専用ページ内「単位振替システム」にて、ご自身で行ってください。

5) 取得単位数の上限について

本ワークショップで取得できる単位数の上限は、4単位です。

そのうち、オンデマンド配信の視聴で取得できる単位の上限は、4単位(4単位×開催日数)です。

※今回、単位取得可能プログラムが4つとなりますので、現地ですべての単位を取得した場合、後のオンデマンドで取得できる単位はございません。

【オンデマンド配信で受講される場合】

1) お申し込み方法

お申し込みはオンライン登録で行います。

10月18日(水)のオンデマンド配信開始以降、単位の受付(1,000円/各学会1講演につき)が可能となります。

第15回ホームページ内の専用サイトから、画面上の指示に従って、登録してください。

2) 受講方法

① オンデマンド配信期間中に、お申込みいただいた講演を視聴してください。

視聴後、設問への解答を行っていただき、合格をもって、視聴完了となります。

最後までご視聴のうえ、必ず解答してください。

② オンデマンド配信では、単位受講用の配信ページと、視聴のみのページを用意いたします。

視聴時間の管理のため、必ず単位受講用ページより視聴いただきますようお願い申し上げます。

③ 動画を早送りする、複数の動画を同時に視聴した場合には不正受講となり、単位が認められません。

2. 日本手外科学会教育研修単位をご希望の方へのお知らせ

本ワークショップは、日本手外科学会教育研修単位が認定されています。
対象となる講演は以下の通りです。

【対象となる講演】

時間	会場	セッション名	演題名	演者	単位種別
8:00～ 9:00	第1会場	MOEYO セミナー1 (モーニングセミナー)	難治性橈骨遠位端骨折に対する 治療戦略 —単軸型掌側ロッキングプレートの 適応と限界—	今谷 潤也	1単位
			橈骨遠位端骨折 —多軸型 VLP 時代における単軸型 VLP の治療成績—	辻 英樹	
ランチョンセミナー		舟状骨骨折・偽関節の診断と 治療の多様性 —悩ましきかな舟状骨—	坪川 直人		
MOEYO セミナー2 (教育研修講演)		手根靭帯損傷とそれに続発する 手根不安定症に対する手術治療	三浪 明男		
14:45～ 15:45		スイーツセミナー	母指 CM 関節症に対する 関節形成術	辻井 雅也	
	母指 CM 関節症に対する 関節固定術 —固定手技の変遷と癒合率—		幸田 久男		

【現地会場で受講される場合】

1) お申し込み方法

- ① 記帳台に用意されている「教育研修講演受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、受講料(1単位:1,000円)を添えて、講演開始の20分前までに教育研修講演単位受付にてお申込みください。
- ② 日本手外科学会の「教育研修講演受講証明書」をお受け取りください。
※受講料の払い戻し(講演中止等やむを得ない場合を除く)や、受講証明書の再発行はできかねますので、ご注意ください。

2) 講演会場での手続き

- ① 講演開始予定時刻までに会場へご入場ください。講演開始後10分を過ぎた場合、受講申込みが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。
- ② 各講演終了後、「教育研修講演受講証明書」の【日手会提出用】部分を切り取っていただき、会場退場時に回収します。(必ず提出用紙に氏名・生年月日をご記入ください)
※【日手会提出用】の提出をお忘れの場合、受講したことが認められない場合がございますのでご注意ください。
- ③ 当該講演終了後の会場退場時以外でのご提出は理由の如何を問わず受付できかねます。

3) 研修単位受講履歴の確認について

- ① 受講単位は、本ワークショップの約2週間後から、日本手外科学会ホームページ・会員専用ページにて、ご自身の単位取得状況を確認することができます。
- ② 従来の専門医手帳の新規発行、更新はいたしません。教育研修講演の受講記録については各自で管理し、会員専用ページにてご確認をお願いいたします。

4) 取得単位数の上限について

受講単位の上限はありません。

【オンデマンド配信で受講される場合】

1) お申し込み方法

お申し込みはオンライン登録で行います。

10月18日(水)のオンデマンド配信開始以降、単位の受付(1,000円/各学会1講演につき)が可能となります。

第15回ホームページ内の専用サイトから、画面上の指示に従って、登録してください。

2) 受講方法

① オンデマンド配信期間中に、お申込みいただいた講演を視聴してください。

視聴後、設問への解答を行っていただき、合格をもって、視聴完了となります。

最後までご視聴のうえ、必ず解答してください。

② オンデマンド配信では、単位受講用の配信ページと、視聴のみのページを用意いたします。

視聴時間の管理のため、必ず単位受講用ページより視聴いただきますようお願い申し上げます。

③ 動画を早送りする、複数の動画を同時に視聴した場合には不正受講となり、単位が認められません。

3. 日本ハンドセラピィ学会教育研修単位をご希望の方へのお知らせ

【現地会場で受講される場合】

記帳台に用意されている「教育研修講演受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、教育研修講演単位受付にてお申込みいただき、“受講証明書”をお受け取りください。

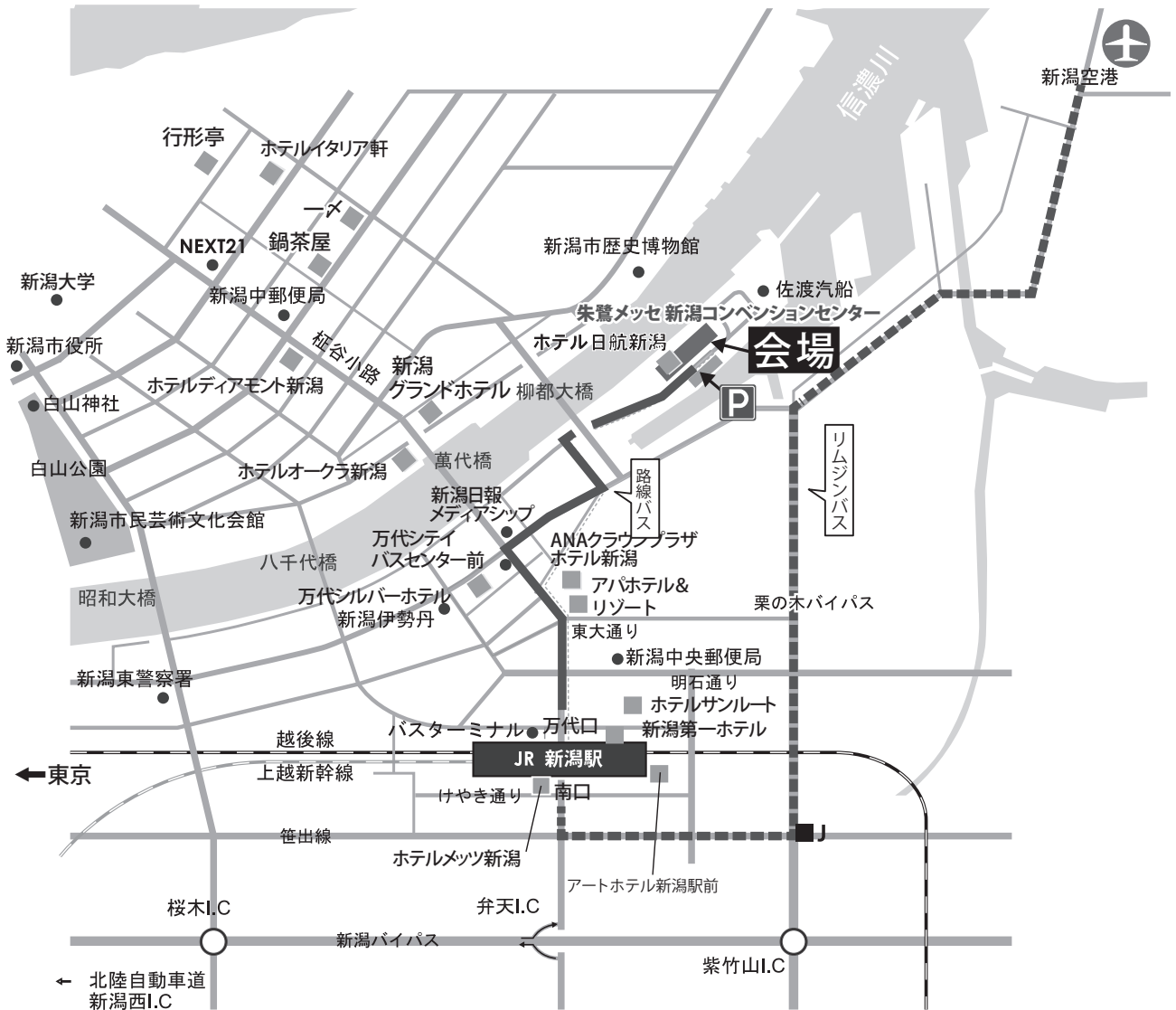
【オンデマンド配信で受講される場合】

① 参加登録画面の参加費区分選択時に「ハンドセラピィ学会単位付与」が入っているものをご選択ください。

② 会員番号(半角数字6桁)をご入力ください。

③ オンデマンド受講者の方への“受講証明書”はオンデマンド終了後の11月22日以降の発行となりますので、予めご了承ください。

交通のご案内(アクセス図)

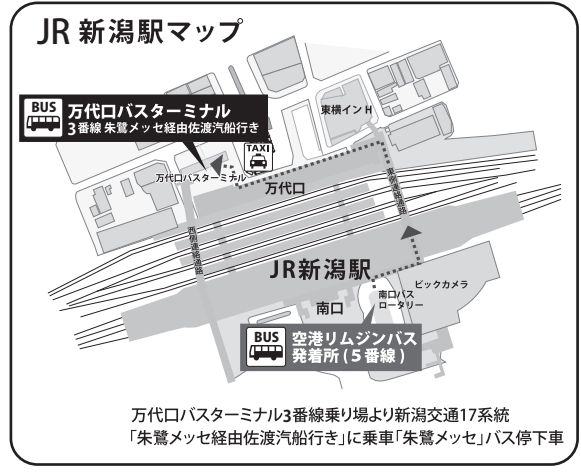


新潟へのアクセス

飛行機を利用する	出発地	到着地	所要時間	新潟空港
札幌	新千歳空港	新潟空港	約1時間15分	新潟空港
成田	成田空港	新潟空港	約1時間10分	
大阪	大阪国際空港 (伊丹空港)	新潟空港	約1時間	
名古屋(中部国際)	中部国際空港	新潟空港	約1時間	
名古屋(小牧)	豊田名古屋空港	新潟空港	約1時間	
福岡	福岡空港	新潟空港	約2時間	

各航空会社へお問い合わせください。 <http://www.n-airport.co.jp/flight/>

新潟空港	JR新潟駅	朱鷺メッセ
リムジンバス 約25分 (新潟駅南口着) (1日往復65便 約20~30分間隔) 410円	南口/万代口 徒歩 2分	路線バス (佐渡汽船行き) 210円 (約15分) 万代シティバスセンター前 新潟日報メディアシップ 柳都大橋 朱鷺メッセ下車 (終点 佐渡汽船)
	タクシー 約1,000円	約5分
	徒歩	約20分

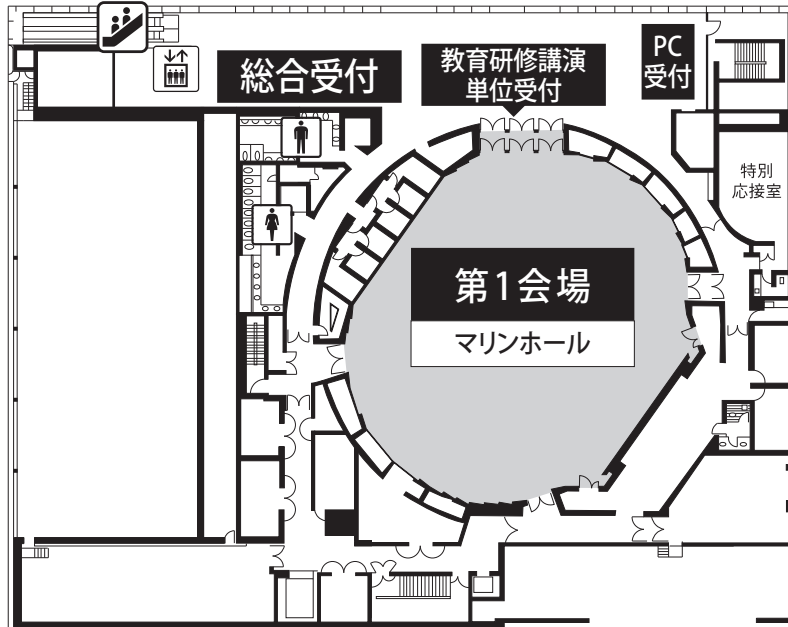


万代口バスターミナル3番線乗り場より新潟交通17系統「朱鷺メッセ經由佐渡汽船行き」に乗車「朱鷺メッセ」バス停下車

会場のご案内(フロア図)

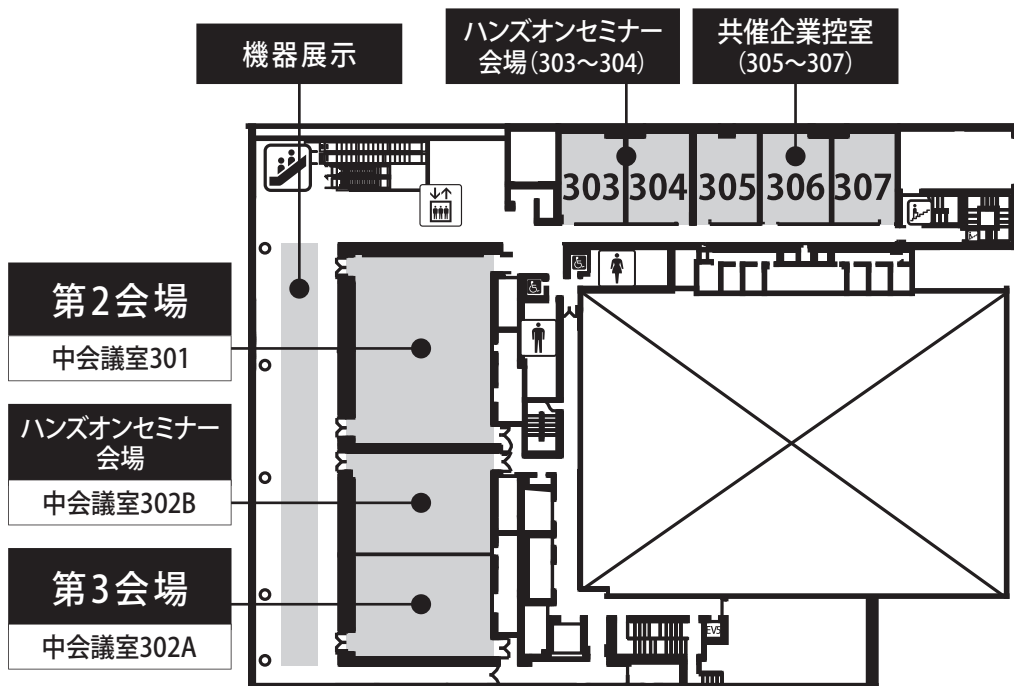
新潟コンベンションセンター

4F



新潟コンベンションセンター

3F



2023年9月30日 土

	第1会場 4F マリンホール	第2会場 3F 中会議室301	第3会場 3F 中会議室302A	ハンズオンセミナー会場 3F 中会議室302B 3F 小会議室303・304	
8:00	7:55 開会式 8:00~9:00 MOEYOセミナー 1 (モーニングセミナー) 橈骨遠位端骨折に対する 単軸型掌側ロッキングプレート 共催：日本メディカルネクスト(株) メイラ(株)	8:00~8:25 主題 2 手関節周囲靭帯損傷 1	8:00~8:30 一般演題 2 橈骨遠位端骨折 1		9:00~10:30 ハンズオンセミナー 1 簡単・安全な 2ポータル鏡視下 手根管開放術 講師：森谷 浩治 幸田 久男 共催：スミス・アンド・ ネフュー(株)
9:00	9:05~9:50 主題 1 橈骨遠位端骨折 1	8:30~9:00 主題 2 手関節周囲靭帯損傷 2	8:35~9:05 一般演題 3 橈骨遠位端骨折 2	9:50~11:50 ハンズオンセミナー 3 手関節疾患における 低侵襲手術ハンズオン ／関節鏡手術・鏡視下 手根管開放術など 講師：藤尾 圭司 山口 さおり 露口 和陽 共催：Arthrex Japan(同)	
10:00	9:55~10:40 主題 1 橈骨遠位端骨折 2	9:05~10:35 MOEYO シンポジウム 2 TFCC損傷に対する ハンドセラピスト の関わり 座長：藤目 智博 西村 誠次	9:10~10:00 一般演題 4 橈骨遠位端骨折 3		10:50~12:20 ハンズオンセミナー 1 簡単・安全な 2ポータル鏡視下 手根管開放術 講師：森谷 浩治 幸田 久男 共催：スミス・アンド・ ネフュー(株)
11:00	10:45~12:15 MOEYOスポンサード シンポジウム 橈骨遠位端骨折に 対する多軸型掌側 ロッキングプレート 座長：長田 伝重 川崎 恵吉	10:40~12:15 MOEYOパネル ディスカッション TFCC・手根靭帯損 傷に対する治療： 修復？再建？ 座長：中村 俊康 面川 庄平	10:05~10:35 一般演題 5 変形性関節症	10:40~11:10 一般演題 6 手関節周囲靭帯損傷	
12:00			11:15~11:40 一般演題 7 無腐性壊死など		
13:00	12:25~13:25 ランチョンセミナー 舟状骨骨折・偽関節の 診断と治療の多様性 —悩ましきかな舟状骨— 共催：メイラ(株)	共催：メイラ(株)、ミズホ(株)、 HOYA Technosurgical(株)、 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、 (株)エム・イー・システム			
14:00	13:35~14:35 MOEYOセミナー 2 (教育研修講演) 手根靭帯損傷とそれに 続発する手根不安定症 に対する手術治療 座長：牧 裕				
15:00	14:45~15:45 スイーツセミナー 母指CM関節変形性 関節症に対する 手術治療 共催：メイラ(株)	14:45~15:20 主題 3 舟状骨骨折・偽関節	14:45~16:45 ハンズオンセミナー 4 手関節に対する スプリント療法 講師：仲木 右京 奥村 修也 共催：酒井医療(株)	14:45~16:45 ハンズオンセミナー 5 母指CM関節症に対 する第1中手骨 骨切り術 講師：小川 光 共催：(株)ベアー・メディック、 (株)ステラ医療企画	
16:00	15:50~17:30 MOEYO シンポジウム 1 舟状骨偽関節の治療 座長：池田 和夫 坪川 直人	15:20~15:40 一般演題 1 新技術			
17:00		15:50~17:30 MOEYOディベート 座長：長尾 聡哉 泉山 公 1. キーンバック病 stage IIに対する 治療 2. プライザー病に 対する治療			
	17:30 閉会式				

プログラム

第1会場(マリンホール)

7:55～

開会式

8:00～9:00

MOEYO セミナー1 (モーニングセミナー)

座長：西脇 正夫(川崎市立川崎病院 整形外科)

[橈骨遠位端骨折に対する単軸型掌側ロッキングプレート]

MS1-1 難治性橈骨遠位端骨折に対する治療戦略
—単軸型掌側ロッキングプレートの適応と限界—

○今谷 潤也

恩賜財団済生会 岡山済生会総合病院

共催：日本メディカルネクスト株式会社

MS1-2 橈骨遠位端骨折 —多軸型 VLP 時代における単軸型 VLP の治療成績—

○辻 英樹

医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院 整形外科

共催：メイラ株式会社

9:05～9:50

主題1 [橈骨遠位端骨折1]

座長：吉井 雄一(東京医科大学 茨城医療センター)

M1-1 橈骨関節面横径・前後径と身体的特徴の関係

○浅井 玲央¹⁾、吉井 雄一¹⁾、江田 雄亮²⁾、石井 朝夫¹⁾

1) 東京医科大学茨城医療センター 整形外科、2) 筑波メディカルセンター病院 整形外科

M1-2 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定後の正中神経の位置と形態の調査

○細川 高史¹⁾、田鹿 毅²⁾、須藤 執道¹⁾、長島 泰斗¹⁾、筑田 博隆³⁾

1) 利根中央病院整形外科、2) 群馬大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション学、
3) 群馬大学大学院 医学系研究科 整形外科

M1-3 Volar lunate facet fragment を有する橈骨遠位端骨折に対する
三次元モデル解析に基づく Stellar シリーズの選択

○信貴 厚生¹⁾、森友 寿夫²⁾、正富 隆¹⁾、行岡 正雄¹⁾

1) 行岡病院、2) 行岡医療大学

M1-4 橈骨遠位端骨折による橈骨傾斜の低下が尺骨突き上げ症候群の影響を減弱する：
有限要素解析による力学的検討

○松浦 佑介、伊藤 陽介、久保田 憲司、佐久間 昭利、北條 篤志、岩崎 龍太郎、
野本 堯、松沢 優香里、鍋島 欣志郎、小林 樹、稲熊 佳代
千葉大学大学院 医学研究院 整形外科

M1-5 橈骨遠位端骨折後掌屈・背屈変形の特徴と治療成績

○岡 久仁洋¹⁾、数井 ありさ¹⁾、宮村 聡¹⁾、塩出 亮哉¹⁾、山本 夏希¹⁾、三宅 佑¹⁾、
村瀬 剛²⁾
1)大阪大学 医学部 整形外科、2)ペルランド総合病院 整形外科

M1-6 橈骨遠位端関節内骨折後変形治癒に対して、
患者適合型ガイド(PMI)を用いて double osteotomy を施行した2例

○近藤 弘基、岡 久仁洋、数井 ありさ、塩出 亮哉、岩橋 徹、宮村 聡、田中 啓之、
岡田 誠司
大阪大学 整形外科

9:55～10:40

主題1 [橈骨遠位端骨折2]

座長：坂本 相哲 (JA 山口県厚生連 小郡第一総合病院 整形外科)

M1-7 Dual Loc[®] Radii システム V3 (以下、V3) で固定した月状骨窩掌側骨片を
有する橈骨遠位端骨折の治療成績

○山本 耕平、寺浦 英俊
医療法人橘会 東住吉森本病院 整形外科

M1-8 掌側月状骨窩骨片を伴う掌側転位型橈骨遠位端骨折に対する
掌側橈尺靭帯縫合法の治療成績

○西脇 正夫、石原 啓成、寺坂 幸倫、久永 希、堀内 行雄
川崎市立川崎病院 整形外科 手肘外科センター

M1-9 掌側月状骨窩骨片の二重骨折を伴う橈骨遠位端骨折の特徴と治療成績

○中山 健太郎¹⁾、高井 盛光²⁾、亀田 正裕³⁾、都丸 倫代¹⁾、小曾根 和毅⁴⁾、
大高 遼太郎¹⁾、種市 洋¹⁾、長田 伝重⁵⁾
1) 獨協医科大学 整形外科学、2) 黒須病院 整形外科、3) 亀田整形外科内科医院 整形外科、
4) 那須赤十字病院 整形外科、5) 獨協医科大学日光医療センター 整形外科

M1-10 高度救命救急センターにおける橈骨遠位端骨折に合併した
尺骨遠位端骨折の検討

○松山 善之
東京都立墨東病院 高度救命救急センター

M1-11 術後手根骨掌側亜脱臼に対して掌側傾斜を減じて再固定術を行った
関節内 Smith 骨折の長期成績：1 例報告

○赤木 健一郎、森谷 浩治
一般財団法人 新潟手の外科研究所

M1-12 陳旧性手関節掌側亜脱臼症例に対して矯正骨切り術を施行した2例

○日比野 直仁¹⁾、佐藤 亮佑²⁾、高橋 芳徳³⁾、平野 哲也¹⁾、西殿 圭祐¹⁾、
岩目 敏幸¹⁾、千川 隆志¹⁾、笠井 時雄⁴⁾
1) 徳島県鳴門病院、2) 徳島市民病院、3) 高知赤十字病院、4) 高松赤十字病院

M1-13 橈骨遠位関節内骨折術後転位症例に対し掌側進入をメインとして
combined plating を行った1例

○徳武 克浩¹⁾²⁾、建部 将広¹⁾²⁾、西川 恵一郎²⁾、山本 美知郎²⁾
1) 名古屋大学 医学部 四肢外傷学寄附講座、2) 名古屋大学 医学部 人間拡張・手の外科学講座

10:45~12:15

MOEYO スポンサーードシンポジウム

座長：長田 伝重(獨協医科大学日光医療センター 整形外科)
川崎 恵吉(昭和大学横浜市北部病院 整形外科)

[橈骨遠位端骨折に対する多軸型掌側ロッキングプレート]

MSSY-1 純国産多軸型ロッキングプレート Dual Loc Raddi VF システムの治療成績

○黒田 拓馬
一般財団法人 新潟手の外科研究所

共催：メイラ株式会社

MSSY-2 掌側月状骨窩辺縁骨片を有する橈骨遠位端骨折の治療
—HYBRIX-D[®]を用いて—

○橋崎 慎二、今谷 潤也、沖田 駿治、今谷 紘太郎
岡山済生会総合病院 整形外科

共催：ミズホ株式会社

MSSY-3 Swing lock Mechanism と tilt up device を有する
StellarD プレートの最遠位スクリュー挿入角度の調整法とその利点

○吉澤 貴弘¹⁾、関谷 繁樹¹⁾、山田 賢治²⁾、林 進¹⁾
1) 社会医療法人社団尚篤会 赤心堂病院、2) 佐々総合病院 整形外科

共催：HOYA Technosurgical 株式会社

MSSY-4 Variable Angle LCP Volar Distal Radius Plate を用いた
橈骨遠位端骨折の治療戦略

○神田 俊浩、鈴木 歩実、吉水 隆貴
聖隷浜松病院 整形外科

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

MSSY-5 術中 CT 撮影による関節内橈骨遠位端骨折の治療の試み
—可変型 Screw の位置の術中把握—

○松浦 佑介
千葉大学大学院 医学研究院 整形外科

共催：株式会社エム・イー・システム

12:25～13:25 **ランチョンセミナー**

座長：山本 美知郎(名古屋大学大学院 医学系研究科 運動・形態外科学 人間拡張・手の外科学)

LS 舟状骨骨折・偽関節の診断と治療の多様性 —悩ましきかな舟状骨—

○坪川 直人
一般財団法人 新潟手の外科研究所

共催：メイラ株式会社

13:35～14:35 **MOEYO セミナー2 (教育研修講演)**

座長：牧 裕(一般財団法人 新潟手の外科研究所)

MS2 手根靭帯損傷とそれに続発する手根不安定症に対する手術治療

○三浪 明男
北海道せき損センター

14:45～15:45 **スイーツセミナー**

座長：小田 良(京都府立医科大学 整形外科)

[母指 CM 関節変形性関節症に対する手術治療]

SS-1 母指 CM 関節症に対する関節形成術

○辻井 雅也
つじい整形外科・手の外科クリニック

SS-2 母指 CM 関節症に対する関節固定術 —固定手技の変遷と癒合率—

○幸田 久男、森谷 浩治、黒田 拓馬、成澤 弘子、坪川 直人、牧 裕
一般財団法人 新潟手の外科研究所

共催：メイラ株式会社

15:50～17:30 **MOEYO シンポジウム 1**

座長：池田 和夫（金沢医療センター 整形外科）
坪川 直人（一般財団法人 新潟手の外科研究所）

[舟状骨偽関節の治療]

MSY1-1 顕微鏡を用いた低侵襲手術法

○大井 宏之
聖隷浜松病院 手外科・マイクロサージャリーセンター

MSY1-2 嚢胞型舟状骨偽関節に対する手関節鏡支援手術の治療成績

○金城 養典、矢野 公一、横井 卓哉、松本 聖志郎、坂中 秀樹
清恵会病院 整形外科 手外科マイクロサージャリーセンター

MSY1-3 偽関節手術時の移植骨の選択

○池口 良輔¹⁾²⁾、野口 貴志¹⁾、吉元 孝一¹⁾、坂本 大地¹⁾、岩井 輝修¹⁾、
藤田 一晃¹⁾、松田 秀一¹⁾²⁾
1)京都大学 整形外科、2)京都大学 リハビリテーション科

MSY1-4 偽関節手術時の内固定材の選択 —k-wire, headless screw, locking plate

○川崎 恵吉、酒井 健、筒井 完明、明妻 裕孝、新妻 学、諸星 明湖、萩原 陽、
上野 幸夫、岡野 市郎、久保 和俊
昭和大学横浜市北部病院 整形外科

MSY1-5 SNAC wrist に対する手術加療

○中村 俊康
国際医療福祉大学 整形外科

17:30～

閉会式

8:00~8:25

主題2 [手関節周囲靭帯損傷1]

座長：加地 良雄(香川大学 医学部 整形外科科学講座)

- M2-1** 陳旧性月状骨脱臼に対して二期的手術を試みた一例
○久保田 憲司、松浦 佑介
千葉大学医学部附属病院
- M2-2** 舟状月状骨解離後の SLAC リスト Stage II に対して、
橈骨茎状突起切除と RASL を行った1例
○仲摩 憲次郎
川崎病院
- M2-3** 徒手整復が不能であった舟状骨骨折を合併した月状骨脱臼の1例
○金 潤壽、根本 高幸、岩崎 幸治
太田総合病院 手外科センター
- M2-4** 非外傷性遠位橈尺関節不安定症に対して橈骨矯正骨切り術及び
三角線維軟骨複合体(TFCC)再建術を施行した1例
○山下 修人、数井 ありさ、塩出 亮哉、宮村 聡、岩橋 徹、田中 啓之、
岡 久仁洋
大阪大学医学部附属病院 整形外科

8:30~9:00

主題2 [手関節周囲靭帯損傷2]

座長：山本 美知郎(名古屋大学大学院 医学系研究科 運動・形態外科学 人間拡張・手の外科学)

- M2-5** 遠位橈尺関節不安定症に対して尺骨短縮矯正骨切りに TFCC 再建を
併用した1例
○松田 匡弘
福岡整形外科病院
- M2-6** CT 最大値投影法を用いた遠位橈尺関節不安定性の評価
○坂本 相哲、服部 泰典、佐々木 淳、佐伯 侑治、土井 一輝
小郡第一総合病院
- M2-7** 尺骨突き上げ症候群に対する鏡視下 wafer 法の小経験
○吉田 史郎、松浦 充洋、高田 寛史、西村 大幹、小倉 友介、平岡 弘二
久留米大学 整形外科

- M2-8** 尺骨短縮骨切り術の治療成績
—APTUS Wrist Ulna Shortening System 2.5と MIZUHO Jplate の比較—
○宮島 佑介¹⁾²⁾、上村 卓也²⁾、斉藤 公亮¹⁾、岡田 充弘¹⁾、中村 博亮¹⁾
1)大阪公立大学 医学部 整形外科学、2)JR 大阪鉄道病院 整形外科

9:05～10:35

MOEYO シンポジウム2

座長：藤目 智博(新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科)
西村 誠次(金沢大学医薬保健研究域 保健学系)

[TFCC 損傷に対するハンドセラピストの関わり]

- MSY2-1** TFCC 損傷に対する SPLINTING
○仲木 右京
柏 HAND クリニック
- MSY2-2** TFCC 損傷修復前後のセラピストの役割
○奥村 修也
常葉大学 保健医療学部 作業療法学科
- MSY2-3** TFCC 再建術後のセラピーに対する注意点
○塩田 紀之、小田桐 正博、松澤 翔太、江原 和晃、土田 尚美、森谷 浩治
一般財団法人 新潟手の外科研究所
- MSY2-4** 当科における尺骨突き上げ症候群に対する尺骨短縮骨切り術後の
リハビリテーション
○梶田 芳徳¹⁾、安部 幸雄²⁾
1)山口県済生会下関総合病院 リハビリテーション科、2)山口県済生会下関総合病院 整形外科

10:40～12:15

MOEYO パネルディスカッション

座長：中村 俊康(国際医療福祉大学 医学部 整形外科学)
面川 庄平(奈良県立医科大学 手の外科学)

[TFCC・手根靭帯損傷に対する治療：修復？再建？]

- MPD-1** 掌側進入法による TFCC 修復および再建
○森友 寿夫
大阪行岡医療大学 行岡病院手外科センター

MPD-2 舟状月状骨靭帯損傷に対する治療経験

○安部 幸雄、高橋 洋平
済生会下関総合病院 整形外科

MPD-3 関節鏡所見に基づいた手根靭帯損傷に対する手術方法

○建部 将広¹⁾、森田 哲正²⁾、山本 美地郎³⁾、岩月 克之³⁾、小嶽 和也²⁾
1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 四肢外傷学寄附講座、2) 鈴鹿回生病院 整形外科、
3) 名古屋大学 手の外科

MPD-4 TFCC 尺骨小窩部断裂に対する 18ゲージカテラン針を用いた鏡視下縫合術

○河合 生馬¹⁾、土田 真嗣²⁾、小田 良²⁾、藤原 浩芳³⁾
1) 宇治武田病院 整形外科、2) 京都府立医大大学院 運動器機能再生外科学(整形外科)、
3) 京都第二赤十字病院 整形外科

MPD-5 橈骨遠位端骨折に合併した SL 靭帯損傷

— 掌側ポータル鏡視所見に基づいた治療戦略 —

○鈴木 大介¹⁾、小野 浩史¹⁾、面川 庄平²⁾、石崎 歩¹⁾、藤谷 良太郎³⁾
1) 西奈良中央病院 整形外科・手外科センター、2) 奈良県立医科大学 手の外科講座、
3) 医真会八尾総合病院 整形外科

MPD-6 TFCC 損傷に対する再建術

～尺骨莖状突起基部骨切り進入による長掌筋腱を用いた私達の方法～

○高野 岳人¹⁾³⁾、依田 拓也²⁾、鈴木 宣瑛¹⁾、森谷 浩治³⁾
1) 新潟大学 整形外科、2) 新潟大学 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座、
3) 一般財団法人 新潟手の外科研究所

14:45～15:20

主題3 [舟状骨骨折・偽関節]

座長：善家 雄吉(産業医科大学病院 救急科・四肢外傷センター)

M3-1 手根中央関節亜脱臼を伴った近位手根列前額面骨折の2例

○栗山 幸治、阿部 真悟、今井 優子
市立豊中病院 整形外科

M3-2 舟状骨偽関節に対する円柱状腸骨移植

○佐藤 光太郎、村上 賢也、松浦 真典
岩手医科大学 整形外科

M3-3 小児舟状骨骨折に対する手術療法の治療成績

○犬飼 友哉、森谷 浩治、牧 裕、坪川 直人、成澤 弘子、幸田 久男、黒田 拓馬
一般財団法人 新潟手の外科研究所

M3-4 小児における手舟状骨骨折偽関節の治療経験

○徳武 克浩¹⁾、建部 将広¹⁾、佐伯 岳紀²⁾、山本 美知郎²⁾
1) 名古屋大学 医学部 四肢外傷学寄附講座、2) 名古屋大学 医学部 人間拡張・手の外科学講座

M3-5 SNAC wrist に対する逆行性スクリュー固定法による four corner fusion の試み

○西村 大幹、吉田 史郎、松浦 充洋、高田 寛史、小倉 友介、平岡 弘二
久留米大学 整形外科

15:20～15:40

一般演題1 [新技術]

座長：小島 康宣(南奈良総合医療センター 整形外科)

O1-1 全人工手関節手根骨ステムの至適なエントリーポイントの同定

○遠藤 健¹⁾、河村 太介²⁾、松井 雄一郎¹⁾³⁾、門間 太輔⁴⁾、鈴木 智亮¹⁾、
木田 博朗¹⁾、五月女 慧人¹⁾、岩崎 倫政¹⁾

1) 北海道大学大学院 医学研究院 整形外科科学教室、2) NTT 東日本札幌病院、
3) 北海道大学大学院 歯学研究院、4) 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター

O1-2 新しい内視鏡下手根管開放術専用デバイスの開発 ー第1報ー

○鳥谷部 莊八¹⁾、三浦 孝行¹⁾、津久井 英威¹⁾、小曾根 英²⁾、岡田 誉元³⁾

1) 仙台医療センター 形成外科手外科 東北ハンドサージャリーセンター、
2) 千葉市立青葉病院 整形外科、3) 東北大学病院 形成外科

O1-3 手関節軟骨障害に対する自家骨軟骨移植による関節再建術の検討

○児玉 成人¹⁾、竹村 宜記¹⁾、本原 功二郎²⁾

1) 滋賀医科大学 整形外科、2) 野洲病院 整形外科

15:50～17:30

MOEYO ディベート

座長：長尾 聡哉(板橋区医師会病院 整形外科)

泉山 公(永生会 南多摩病院、上肢の外科センター)

[1. キーンベック病 stage II に対する治療]

MD1-1 キーンベック病(月状骨壊死症)の治療： 血管柄付き骨移植術の適応とその成績

○村田 景一、鍛冶 大祐、中尾 哲子、矢島 弘嗣

市立奈良病院 四肢外傷センター

MD1-2 キーンベック病 stage II に対する橈骨短縮骨切り術

○松井 雄一郎¹⁾²⁾、遠藤 健²⁾、門間 太輔³⁾、岩崎 倫政²⁾

1) 北海道大学大学院 歯学研究院 臨床教育部、2) 北海道大学大学院 医学研究院 整形外科科学教室、
3) 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター

[2. プライザー病に対する治療]

MD2-1 プライザー病に対する血管柄付き骨移植術の治療成績

○本原 功二郎¹⁾、竹村 宜記²⁾、安藤 厚生²⁾、児玉 成人²⁾、今井 晋二²⁾

1) 市立野洲病院 整形外科、2) 滋賀医科大学 整形外科

MD2-2 Preiser 病に対する橈骨楔閉じ骨切り術

○依田 拓也¹⁾、森谷 浩治²⁾

1) 新潟大学 医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座、

2) 一般財団法人 新潟手の外科研究所

8:00~8:30

一般演題2 [橈骨遠位端骨折1]

座長：幸田 久男(一般財団法人 新潟手の外科研究所)

O2-1 橈骨楔閉じ骨切り術と尺骨短縮骨切り術により治療した
橈骨遠位端骨折変形治癒の1例

○久保田 解、土谷 正彦
独立行政法人労働者健康安全機構 新潟労災病院

O2-2 橈骨遠位端骨折保存療法後に手根管開放術を要した症例の検討

○山田 政彦、森谷 浩治、黒田 拓馬、幸田 久男、坪川 直人、成澤 弘子、牧 裕
新潟手の外科研究所

O2-3 橈骨遠位端骨折患者における骨粗鬆症治療介入の現状

○石坂 佳祐、善財 慶治
長岡中央総合病院

O2-4 橈骨遠位端骨折の骨粗鬆症治療状況

○上村 一成¹⁾、白旗 正幸¹⁾、依田 拓也²⁾
1)魚沼基幹病院、2)新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能再建医学講座 整形外科学分野

O2-5 橈骨遠位端骨折後に示指中指伸筋腱断裂をきたし腱移植術を行い
治療した1例

○渡邊 牧人
新潟臨港病院

8:35~9:05

一般演題3 [橈骨遠位端骨折2]

座長：黒田 拓馬(一般財団法人 新潟手の外科研究所)

O3-1 橈骨遠位端骨折症例と大腿骨近位部骨折症例の橈骨遠位端骨折既往オッズの
比較

○濱 峻平¹⁾、高松 聖仁¹⁾、中村 博亮²⁾
1)淀川キリスト教病院 整形外科、2)大阪公立大学 整形外科学

O3-2 超高齢者に対する橈骨遠位端骨折手術症例の成績

○土屋 潤平、福原 宗、岡田 宗一郎、須田 義裕、島垣 朔歩、大坪 周平
鶴岡市立荘内病院

O3-3 AO分類C型 橈骨遠位端骨折に対するDesmanet法を用いた治療戦略

○今井 真¹⁾、倉石 達也¹⁾、村岡 治¹⁾、福原 宗²⁾、山田 政彦³⁾、竹内 峻¹⁾、
木南 佳也¹⁾
1)新潟県立 十日町病院、2)鶴岡市立 荘内病院、3)新潟手の外科研究所病院

O3-4 橈骨遠位端骨折に対する手術療法で背側進入を必要とした症例の検討
○北條 篤志、森谷 浩治、黒田 拓馬、幸田 久男、成澤 弘子、坪川 直人、牧 裕
一般財団法人 新潟手の外科研究所

O3-5 橈骨遠位端骨折の最小侵襲手術で行う condylar stabilizing 法の手術成績
○土肥 義浩、鈴木 秀平、當麻 俊彦
八尾徳洲会総合病院

9:10～10:00

一般演題4 [橈骨遠位端骨折3]

座長：依田 拓也（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能再建医学講座 整形外科学分野）

O4-1 橈骨遠位端骨折に伴う尺骨茎状突起基部骨折に対する
吸収性体内固定用ピンと縫合糸を用いた骨接合術
○今井 優子、阿部 真吾、栗山 幸治
市立豊中病院 整形外科

O4-2 橈骨遠位端骨折に合併した尺骨茎状突起骨折の術後成績
～ TFCC 小窩部非断裂群における検討～
○石崎 歩¹⁾、鈴木 大介¹⁾、小野 浩史¹⁾、藤谷 良太郎²⁾、面川 庄平³⁾、
田中 康仁⁴⁾
1) 社会医療法人松本快生会 西奈良中央病院 整形外科・手外科センター、
2) 医真会八尾総合病院 整形外科、3) 奈良県立医科大学 手の外科学、
4) 奈良県立医科大学 整形外科

O4-3 橈骨遠位端骨折に合併する尺骨遠位端骨折の保存療法の治療成績
○福原 宗、土屋 潤平、岡田 宗一郎、須田 義裕、島垣 朔歩、大坪 周平
荘内病院

O4-4 尺骨遠位端骨折に対する LCP distal ulna plate の有用性
○水島 秀幸
名古屋徳洲会総合病院

O4-5 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術後の
前腕回旋可動域訓練
○久永 希¹⁾、西脇 正夫²⁾
1) 川崎市立川崎病院 リハビリテーション科、2) 川崎市立川崎病院 整形外科 手肘外科センター

O4-6 T1rho、T2 mapping を用いた尺骨頭の形態による手関節尺側部軟骨の
質的評価
○大中 敬子¹⁾²⁾、大久保 宏貴¹⁾、與儀 彰³⁾、宮崎 志穂⁴⁾、呉屋 克典⁴⁾、
普天間 朝上²⁾、西田 康太郎¹⁾
1) 琉球大学大学院 医学研究科 整形外科学講座、2) 与那原中央病院 整形外科、
3) 琉球大学大学院 医学研究科 放射線科学講座、4) 琉球大学病院 放射線部

04-7 定量的コンピュータ断層撮影を用いた女性の月状骨の骨密度測定

○中台 雅人¹⁾、依田 拓也²⁾、高野 岳人³⁾、坪川 直人⁴⁾、森谷 浩治⁴⁾、川島 寛之³⁾

1) 新潟市民病院、2) 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座、

3) 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能再建医学講座 整形外科学分野、

4) 一般財団法人 新潟手の外科研究所

04-8 橈骨遠位端部と舟状骨の骨密度の経年的変化は異なる！

○岩崎 龍太郎¹⁾、松浦 佑介¹⁾、金塚 彩¹⁾、山崎 貴弘¹⁾、久保田 憲司¹⁾、伊藤 陽介¹⁾、野本 堯¹⁾、松沢 優香里¹⁾、北條 篤志²⁾

1) 千葉大学医学部附属病院、2) 一般財団法人 新潟手の外科研究所

10:05～10:35

一般演題5 [変形性関節症]

座長：倉石 達也(新潟県立十日町病院 整形外科)

05-1 第3CM 関節 carpal boss に合併したガングリオンによる第二総指伸筋腱、示指伸筋腱の snapping 現象を生じた一例

○増井 菜裕¹⁾、森友 寿夫²⁾、信貴 厚生¹⁾、正富 隆¹⁾、行岡 正雄¹⁾

1) 社会医療法人 行岡医学研究会 行岡病院、2) 行岡医療大学

05-2 LRTI 法後の中手骨沈下と MP 関節過伸展変形再発に対して ECRL 半裁腱と Mini TightRope[®] にて再手術を施行した1例

○河村 真吾、平川 明弘、廣瀬 仁士、秋山 治彦

岐阜大学 整形外科

05-3 母指 CM 関節症に対する CM 関節固定術と関節形成術における治療成績の比較

— 経時的変化の解析 —

○廣瀬 仁士、河村 真吾、平川 明弘、秋山 治彦

岐阜大学 整形外科

05-4 母指 CM 関節固定術後の STT 関節症に対して切除関節形成術を行った1例

○高須 勇太¹⁾、津田 公子²⁾

1) 鳥取大学 医学部 整形外科、2) 鳥取県済生会境港総合病院

05-5 STT 関節症を合併する母指 CM 関節症に DISI 変形を伴うアテトーゼ型脳性麻痺の1例

○松本 泰一、小西 宏樹、小林 大輔、和田山 文一郎

兵庫県立尼崎総合医療センター

座長：鈴木 宣瑛（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能再建医学講座 整形外科学分野）

O6-1 靭帯再建（Eaton & Littler 法）を必要とした骨折を伴わない 小児外傷性母指 CM 関節脱臼の1例

○辻本 淳¹⁾²⁾、上村 卓也²⁾

1) 大阪公立大学大学院 医学研究科 整形外科、2) JR 大阪鉄道病院 整形外科

O6-2 外傷性母指 CM 関節靭帯損傷に対して FCR 半裁腱を用いた靭帯再建術を 施行した2例

○河村 真吾、平川 明弘、廣瀬 仁士、秋山 治彦

岐阜大学 整形外科

O6-3 尺側全 CM 関節開放脱臼骨折の1例

○石井 夏樹¹⁾、小泉 雅裕¹⁾、植木 将人¹⁾、荒井 勝光¹⁾、保坂 登¹⁾、藤川 隆太¹⁾、
富山 泰行¹⁾、樋口 賢太郎¹⁾、遠藤 祐己¹⁾、田口 啓二郎¹⁾、高橋 響²⁾

1) 新潟県立中央病院、2) 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能再建医学講座 整形外科学分野

O6-4 手舟状骨単独脱臼の1例

○中山 祐作¹⁾、笠井 時雄²⁾、高井 通宏²⁾、日比野 直仁³⁾

1) 高知赤十字病院 整形外科、2) 高松赤十字病院 整形外科、

3) 徳島県鳴門病院 整形外科・手外科センター

O6-5 手根中央関節の掌側脱臼を合併した舟状骨骨折の治療経験

○土谷 正彦、久保田 解

独立行政法人労働者健康機構 新潟労災病院 整形外科

座長：中臺 雅人（新潟市民病院 整形外科）

O7-1 若年者キーンベック病に対し仮 SC 固定術で治療した1例

○瀧上 秀威¹⁾、牧田 浩行¹⁾、草山 喜洋¹⁾、中村 祐之¹⁾、浅松 達也¹⁾、
藤森 翔大¹⁾、三津谷 勇磨¹⁾、清水 裕貴²⁾、坂野 裕昭³⁾、稲葉 裕⁴⁾

1) 神奈川県立足柄上病院 整形外科、2) 茅ヶ崎市立病院 整形外科、3) 平塚共済病院 整形外科、

4) 横浜市立大学 整形外科

O7-2 Lichtman 分類3A のキーンベック病に対する部分有頭骨骨切り術を併用した 血管柄付き骨移植術

○山口 幸之助¹⁾、加地 良雄¹⁾、中村 修²⁾、平井（野村）優美¹⁾³⁾、岡 邦彦¹⁾、
宮本 瞬¹⁾、石川 正和¹⁾

1) 香川大学 医学部 整形外科学講座、2) 香川県立白鳥病院 整形外科、

3) さぬき市民病院 整形外科

07-3 プレートを用いない手関節全固定術の1例

○河野 賢人、山下 晴義、中臺 雅人
新潟市民病院

07-4 手指骨用ロッキングプレートを用いた橈骨月状骨間関節固定術の治療成績

○鈴木 宣瑛、高野 岳人、依田 拓也
新潟大学病院 整形外科

11:45～12:10

一般演題8 [その他]

座長：土屋 潤平(鶴岡市立荘内病院 整形外科)

08-1 手関節手術にてデピューシンセス社製 Foot 用コンプレッション・
ディストラクションデバイスを使用した2例

○倉石 達也¹⁾、今井 真¹⁾、福原 宗²⁾、村岡 治¹⁾
1)新潟県立十日町病院 整形外科、2)鶴岡市立荘内病院 整形外科

08-2 尺骨遠位骨端離開に対してフックプレート固定を行った
小児 Galeazzi 類似骨折の1例

○高田 寛史、吉田 史郎、西村 大幹、小倉 友介、松浦 充洋、平岡 弘二
久留米大学病院 整形外科

08-3 手関節尺側部痛をきたした尺骨弯曲による DRUJ 障害、
橈骨遠位端骨端線損傷後 DRUJ 障害に対し手術を行った2例

○富永 明子、田中 日出樹
明舞中央病院

08-4 Madelung 変形に対して逆楔状骨切り矯正術を施行した一例

○田鹿 毅¹⁾、久保井 卓郎²⁾、遠藤 史隆²⁾、羽鳥 悠平²⁾、筑田 博隆²⁾
1)群馬大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション講座、
2)群馬大学大学院 医学系研究科 整形外科

ハンズオンセミナープログラム

ホームページより参加受付を行っております。

各セミナーはそれぞれ定員に達し次第、参加受付は終了となりますので、セミナー詳細ならびに最新情報についてはホームページをご確認ください。

ハンズオンセミナー 1・2 [簡単・安全な2ポータル鏡視下手根管開放術]

共 催：スミス・アンド・ネフュー株式会社

日 時：2023年9月30日(土) 9:00～10:30 / 10:50～12:20

会 場：3F 小会議室 303・304

講 師：森谷 浩治(一般財団法人 新潟手の外科研究所)

幸田 久男(一般財団法人 新潟手の外科研究所)

ハンズオンセミナー 3

[手関節疾患における低侵襲手術ハンズオン / 関節鏡手術・鏡視下手根管開放術など]

共 催：Arthrex Japan 合同会社

日 時：2023年9月30日(土) 9:50～11:50

会 場：3F 中会議室 302B

講 師：藤尾 圭司 (おおさかグローバル整形外科病院)

山口 さおり(おおさかグローバル整形外科病院)

露口 和陽 (おおさかグローバル整形外科病院)

ハンズオンセミナー 4 [手関節に対するスプリント療法]

共 催：酒井医療株式会社

日 時：2023年9月30日(土) 14:45～16:45

会 場：3F 中会議室 302A

講 師：仲木 右京(柏 Hand クリニック)

奥村 修也(常葉大学)

ハンズオンセミナー 5 [母指 CM 関節症に対する第1中手骨骨切り術]

共 催：株式会社 バアーメディック / 株式会社 ステラ医療企画

日 時：2023年9月30日(土) 14:45～16:45

会 場：3F 中会議室 302B

講 師：小川 光(溝口外科整形外科病院)

抄 録

MSSY-1 純国産多軸型ロッキングプレート Dual Loc Radii VF システムの 治療成績

○黒田 拓馬

一般財団法人 新潟手の外科研究所

2019年より開発に着手したメイラ社 Dual Loc Radii VF システムは、数々の試行錯誤を経て2022年7月に完成し、2023年2月より当施設で市販前先行使用を開始した。本システムは先代のV7、V3シリーズの形状は踏襲したまま、単軸型から多軸型へと進化を遂げた。スクリューは独自のガイドを用いることで、10°の範囲内で全方向自在に挿入することが可能であり、確実なロッキングが獲得できるようになっている。また、通常の形状のVFに加えて、掌側辺縁骨折を有する症例に特化したプレートも兼ね備えており、あらゆる骨折に対応可能である。2023年6月末時点での本プレート使用数は50を超え、本会開催時には80程度となることを見込んでいる。

今回、2023年2月から6月までに、本システムを用いて内固定を施行した橈骨遠位端骨折52例のうち、3か月以上の経過観察および術後CT評価が可能であった18例を対象として、その治療成績を調査した。男性3例、女性15例、手術時平均年齢68.0歳、平均経過観察期間3.5か月であった。X線パラメータの矯正損失値は掌側傾斜角が-2~8(平均-0.06)°、尺側傾斜角が-3~2(平均-0.72)°、尺骨バリエーションが-3~0(平均-0.4)mmであった。術後CT矢状面における月状骨窩関節面から1列目スクリューとの距離は-0.7~2.9(平均0.8)mmであり、至適位置へプレートが設置されていたが、2例で関節面へスクリューが突出していた。術後合併症は、正中神経領域の軽度のしびれを1例に認めた。最終診察時の自動可動域は掌屈20~66(平均50.1)°、背屈40~65(平均57.3)°、回内50~85(平均71.2)°、回外45~90(平均80.8)°であった。

今回の調査より、短期の経過観察ではあるが、本システムは良好な治療成績を獲得できていた。当施設の市販前先行使用の実証を踏まえ、10月からは全国の先生方に安心して使用していただきたい。今後、本システムのような多軸型プレートは本邦の橈骨遠位端骨折治療において主軸になっていくと考える。

01-1 全人工手関節手根骨ステムの至適なエントリーポイントの同定

○遠藤 健¹⁾、河村 太介²⁾、松井 雄一郎¹⁾³⁾、門間 太輔⁴⁾、鈴木 智亮¹⁾、
木田 博朗¹⁾、五月女 慧人¹⁾、岩崎 倫政¹⁾

1)北海道大学大学院 医学研究院 整形外科教室

2)NTT 東日本札幌病院

3)北海道大学大学院 歯学研究院

4)北海道大学病院 スポーツ医学診療センター

【目的】人工関節置換術での術中骨折、穿破を防ぐには、適切なエントリーポイントから骨軸に沿ってインプラントを挿入する必要がある。本邦で唯一使用可能な DARTS[®]人工手関節の手根骨ステムは、有頭骨を経て第3中手骨へ挿入するが、適応となる関節リウマチ (RA) 症例では有頭骨の変形によりエントリーポイント決定に難渋することがある。本研究の目的は、第3中手骨骨軸に沿ったステム挿入を行うための、有頭骨エントリーポイントを明らかにすることである。

【方法】手部 CT 検査を用い、第3中手骨-有頭骨間アライメントの後ろ向き研究を行った。RA 群 (Larsen grade 4、5)、および中手骨、有頭骨に変形のない他疾患症例を対照群とし、各6手を比較検討した。評価項目は、第3中手骨背側皮質角 (Dorsal cortical angle : DCA)、矢状断、冠状断での第3中手骨-有頭骨角 (Capitometacarpal angle : CMA)、また第3中手骨骨軸と有頭骨背側皮質の交点をエントリーポイントとした際の、CM 関節面からの距離 (mm)、および有頭骨中央からの偏位率 (%、橈側を正とする) とした。

【結果】RA 群と対照群で DCA に有意差はなかった (順に 3.5° vs 3.4°) が、有頭骨軸に対し第3中手骨軸は RA 群で有意に掌屈、尺屈していた (矢状断 CMA 13.3° vs 8.3° 、冠状断 CMA 13.1° vs 2.7° 、 $p < 0.05$)。またエントリーポイントは CM 関節面に有意に近く (5.9mm vs 11.6mm 、 $p < 0.05$)、また橈側に偏位していた (26.6% vs 5.5% 、 $p < 0.05$)。

【考察】第3中手骨-有頭骨アライメントは正常では直線的であるとされているが、RA 群では掌尺屈していた。これは中手骨の変形ではなく、有頭骨軸の偏位に伴うものであると考えられた。RA 症例で第3中手骨軸に沿った手根骨ステム挿入を行うには、有頭骨の橈背側にエントリーポイントを作成する必要がある。

第15回 日本手関節外科ワークショップ
プログラム・抄録集

会 長：森谷 浩治

事務局：一般財団法人 新潟手の外科研究所
〒957-0117 新潟県北蒲原郡聖籠町諏訪山997
TEL：0254-27-0003(代) FAX：0254-27-0012

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<http://www.secand.jp/>